

公益財団法人日本少年野球連盟（愛称；ボーイズリーグ）

愛知県西支部愛知小牧ボーイズ/E・X

チーム運営基本理念・活動指針

(チーム・ポリシー)

連盟寄付行為第2章（目的）第4条抜粋；ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の鍛磨とスポーツマンシップを理解させることに努め、規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、もって次代を担う健全育成を図ることを目的とする。

目的理念に同意し2007年5月度支部の理事会で承認を受け活動を開始。

【チーム名の由来】

名称；「E・X小牧ボーイズ」ボーイズ規約に地域名とボーイズ表記が必要により、特性を付けるべく無限の進化を意として命名しました。

参照；Evolution・X（エヴォリューション・エックス）無限に進化するとの意

【チームの活動目的】

第2章（目的）第4条に則した上で、チームの活動目的とします。

野球はチームプレイであり、点取りゲームである。試合の世界では、選手も応援も一喜一憂する。そこでチームの活動スローガンである「めざせ・輝け人間野球」を掲げました。スポーツの祭典、オリンピックは、多くの感動を与えてくれます。人間は感動する事で成長する事が出来ます。そして、最高のプレーヤーに共通する姿勢には、ルール守り、相手に敬い、全力で挑戦していることです。

そこには、努力・思いやり・感謝にいきつきます。ゆえに私達は、好きな野球を通じて、努力が報われる事、人と関わる事が大切である事、夢を持ち続ける事が重要である、と信じています。自分自身を輝かせる最高の行動は「本気で取組む事」を活動目的にします。

【選手の育成方針】

指導者には、責任が大きく課せられる。其の上で、如何にして選手と関わるべきかを確認する。此処までも申し上げてきましたが、指導者も選手も互いに「人間である事」を信念の条件にしています。故に、信頼関係の確立が不可欠であります。中学生の時期は、思春期、反抗期を迎える、成長の過程の変化点を避ける訳にはいきません。ましてや、体罰で心を鍛えるとは論外であります。指導者は、それらに代わる知恵と工夫が求められます。真摯に選手と向き合い、対話のキャッチボールをする事が信頼関係を構築する礎と信じています。

これらの事を踏まえ、指導者は対話を大切にし、長所を伸ばす事を心掛ける事。孤独にさせない事ではないでしょうか。それには、指導者自身の成長が不可欠である事を、認識して頂きます。

【行動指針】

社会の為の教育ではなく、教育の為の社会ではないでしょうか。中学生目線には、大人社会が対面教師であり反面教師ではないでしょうか。

私は、教育は子供を幸福にする事が目的と信じています。故に、地域・家庭に於いても子供達と真摯に向き合う事が大切だと思います。また、人には個性もあり、夢と目標があります。私は、最後まで諦めないN・G・U「NEVER GIVE UP」と「超一流とは、絶対にあきらめない執念の人」と学びました。

本気と誠意で取組み、それを諦めない限り、使命の道は必ず開ける事を信じております。E・X小牧ボーイズは、クラブチームです。愚痴と文句はチームが、下り坂に転げ落ちる事の始まりですが、皆さん的情熱を僅かでもチームに、注いで頂ければ機動力と稼働力が倍増すると信じるひとりです。

選手共々に最高の情熱・最高の機動力・最高の作戦で最大の記録・最高の思い出作りを皆様と共に成し遂げたいと思います。

2014, 9, 20 会長 糸井淳二